

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	サイモンレーザー大学
------------	------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	8000 円	外食、軽食のみ
図書費・学用品費	円	研修費用に含む
携帯・インターネット費	8300 円	eSIM
現地通学費	16000 円	定期券購入
教養娯楽費	5000 円	カヤック
被服費	8000 円	
雑費	18000 円	ESTA(アメリカ)、eTA
その他	3700 円	例:お土産
合計	67000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:外貨宅配サービスで10万円 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
どの店もクレジットカードが使えました。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
留学エージェントの推奨されたため、Phone Box で eSIM を購入しました。SIM 用の QR コードがメールで届いて、それを読み込むだけで簡単に利用できました。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
飛行機の機内は夏でも気温が低く乾燥しているので、上着とマスクを用意したほうがいいです。同様に現地では寒い日もあったため、暑さ対策と寒さ対策の両方の準備をしたほうがいいと思いました。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
危険地域の情報は、留学会社からオリエンテーションで説明されました。念のためホストファミリーにも聞き、地図で場所を確認し注意しました。しかし、そういった危険地帯でなくてもホームレスの人や麻薬中毒の人が多かったように思います。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
滞在先や大学内に Wi-Fi があり不便はありませんでした。また商業施設や市内にもありました。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
行く前はホストファミリーと仲良くできるか不安でしたが、実際にはとても親切な方たちでした。留学中、ホストファミリーとたくさん会話をし、一番英語を使ったと思います。ホストファミリーとの関係が留学の経験を大きく左右すると感じました。学校のことや日本の文化、自分の趣味や将来の夢について積極的に話しました。放課後や週末には一緒に観光地を訪れたり、地元のイベントに参加したりしました。ホストファミリーとの時間を通じて、英語力だけでなく異文化理解も深まりました。彼らとの交流が1番の思い出となりました。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
他の短期留学のプログラムよりも授業時間が長く、アクティブラーニングが多かったため、英語の勉強がたくさんできました。また、このプログラムでは留学エージェントのサポートが手厚かったです。英会話教室の回数券や、役に立つオリエンテーションも数回ありました。24時間サポートや航空券の手配までしてもらえました。しかしクラスの生徒のほとんどが日本人だったことは驚きました。学校での異文化交流は多くなかったですが、しっかり英語の勉強はできました。
2)課外プログラムについて
1週間に1回フィールドワークとして美術館や博物館、観光名所に行き、バンクーバーやカナダの歴史、移民、文化について学びました。その他にも、放課後に個人で申し込むアクティビティもありました。バンクーバーは自然豊かな為、自然の中のアクティビティが多くありました。私はカヤックのアクティビティに参加しました。
3)現地での生活に関すること
日本と比べて乾燥していて気温が低いため過ごしやすかったです。また日照時間が長く、日が落ちるのは午後8時くらいだったので、帰る前に暗くなる心配がありませんでした。しかし雨の日や曇りの日は寒いので防寒着も必要です。物価は日本より少し高かったです。交通については、市内のどこでもバス通っており、電車も頻繁に來ます。料金も安く、日本よりも便利でした。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
クラスの人ほとんどが日本人でした。2人台湾とコロンビアから来た生徒がいました。席が3人で隣だった為、よく話しました。一緒にご飯を食べに行ったり、お互いの国や文化について話しました。授業内のグループワークやディスカッションを通じても交流できました。日本以外からの留学生との交流は積極的にした方がいいと思います。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
プログラム外で現地学生に会う機会はそんなにありませんでした。しかし、近所の人やホストファミリーの親戚などと会う機会は多くありました。ホストファミリーも一緒にホームパーティーやドライブ、アメリカに日帰りで遊ぶに行ったりしました。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
家でも飲食店でも1回に出てくる食事の量が多かったです。そして食べ物の廃棄が多く、もったいないという文化がないと思いました。フレンドリーな人が多く、初対面でもすぐ仲良くなれました。特に郊外の住宅地は人が多くない為か、近所の人同士で仲が良く、たくさん交流できました。また、日本と違いチップカルチャーなため、飲食店などある程度のサービスが含まれているものにお金を払う場合は、料金の10パーセントほどをチップとして払いました。税金もチップとは別で払います。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私は、2年秋からの長期留学でカナダに留学することを考えていたため、今回はそのお試しとしてカナダへの1か月の語学留学に参加しました。そのため当初期待していた、現地での生活を通じた実践的な英語力の向上やカナダへの理解が得られました。これだけでなく、親元を離れて生活したことで得られる自立心や主体性、将来海外で働く可能性にも気づけました。留学の目的は語学でしたが、たった1か月でもそれ以上のものをたくさん学び体験できました。今回学べた実践的英語や新しい気づきを、秋学期の英語の授業などで存分に活用したいと思います。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	個人渡航型 海外研修プログラム 2024 年夏季 英・ポーツマス
-----	----------------------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	3万 円	
図書費・学用品費	0	支給される
携帯・インターネット費	5千 円	
現地通学費	0	(研修先まで 30分)
教養娯楽費	5万 円	各地への旅行
被服費	1万 円	
雑費	3万 円	
その他	円	例:
合計	12万5千 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか 現金の用意方法: 日本で 5000 円分、クレジットをメインにした その他用意したものを: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください タッチ決済
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。 現地で購入
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか 上着・寒い時もあったため

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等) <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか? トラブルに巻き込まれないように気を付ける
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 鉄道での使用は期待しないこと

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類 <input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	2) 部屋の形態 <input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2人)
3) 共有部分	

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人へのアドバイス等)

特別な期待をしないように

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

勉強に集中できる環境と町
特に良くない点はない

2)課外プログラムについて

興味があれば、体験してみればよいと思う

3)現地での生活に関すること

体調の管理が大事であり、足りない栄養は自分で工夫すること

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

プログラムへの参加なし

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

上記同様

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

時間の遅れは、多くあること / 問題があればすぐに相談すること

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

留学の過程で、自分の思い描く理想と現実とのギャップは避けられません。そのため、計画通りに行かないこともあります。それが留学の一部であると認識することが大切です。限られた期間を有意義に使うためには、柔軟性を持ち、自分の興味や目標に合わせたアプローチを見つけることが必要です。例えば、新しい文化に積極的に触れたり、現地の人々と交流することで、自分の視野を広げることができます。また、学びたい分野の知識を深めたり、語学力を向上させることも重要です。困難に直面したときには、ポジティブな姿勢で対応し、経験から学ぶ姿勢を忘れずに持ち続けることが、留学生生活を充実させる鍵となります。(286)

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	COEL クライストチャーチ英語研修
------------	--------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	3万 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	3000 円	
現地通学費	1万 円	(研修先まで 15 分)
教養娯楽費	2万 円	
被服費	0 円	
雑費	0 円	
その他	2万 円	例:お土産
合計	8万3000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: その他用意した物: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
デビットカードに入れた分は研修中に使い切ることを前提にしていたため、お金を理由に何かの体験を諦めるということがなかった。もし、クレジットカードを主に使っていたら、来月の請求額を気にして体験を諦めてしまっていたかもしれない。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
2 ギガの SIM カードを到着と同時に空港で購入。WiFi に関しては、家では家の WiFi を使わせてもらった。学校では、通常なら WiFi が使えたが、故障中で使用できなかった。私が研修を終了する頃に復旧し始める兆しがあった。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
持って行ってよかったもの; モバイル充電器(グーグルマップが使えなくなるのを防ぐため)、日焼け止め、薬、お手拭き、ノート 持っていきべきだったもの; パーカー(ジャンパーは持って行ったが、それだけでは足りないほど寒い日があった。また、星を見るツアーに参加するため、テカポ湖に行ったのだが、夜のテカポ湖は特に寒かった。)、タンブラー(学校にコーヒーやココア、お湯などを無料で入れられる場所がある。)

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等: ワーホリで NZ に来ている日本人のクラスメート、町に歩いていた人) 特記事項: ・学校に行って、いつも通りリュックを開けるとありが大量発生していた。その場でリュックから大事なものだけを取り出し、リュックは捨てた。 ・登校日初日、降りるバス停を間違えて、知らぬ土地で彷徨うはめになった。現地の人に学校の場所を聞き、何とか無事に学校に着いた。
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
クライストチャーチは非常に安全で、危険な場面に遭遇したことはなかった。スマートフォンを奪われることを一番避けたかったため、スマホに紐を通して、常に首に下げていた。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
SIM カードを 2 ギガ分しか買わなかったが、もう少し多くギガ数を確保する方が良かった。周りの友達は、もっと多くのギガを買っていた。 バスを利用することが多かったが、現地のバスは、バス停の名前を明確に示してくれないため、グーグルマップだけがたよりだった。その意味で、スマホは欠かせないものだった。私は、購入分のギガを日本へ帰る日の前日にちょうど消費してしまった。そのため、

同じ便で帰る予定だった友達と連絡をとれなくなってしまい、空港で待ち合わせるのが非常に大変だった。また、ギガを心配せずにスマホを使えるようにしておくことは、授業においても利点がある。様々な国からきた友達と話すときに、写真を見せながら説明すると伝わりやすいからだ。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)	
4) 感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
<p>私のホストファミリーは、何度も留学生を受け入れているようでとても慣れた様子でした。若干、話しかけづらい感じはしましたが、その分少しでも会話が続きときの喜びは大きかったです。7歳の男の子がいたため、彼が就寝する9時から静かにする必要があります。日本のサークルのzoom会議があるときなどは、ささやき声で参加する(ASMRのような感じ)など、若干のやりづらさはありませんでしたが許容範囲だったと思います。</p> <p>これから留学する方には、ホストファミリーに過度に期待しないことをお勧めします。ホームステイがいかに居心地が悪いかを伝えるつもりはまったくありません。逆に、自分も、受け入れ先のファミリーも心地良く生活を送るには、お互いに過度な期待をしないことが肝心だと考えているのです。</p>	

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
<p>良かった点は、学校がお昼には終わることです。学校終わりに、様々なバックグラウンドを持つ人と関わったことが、私にとって非常に刺激的で有意義な時間だったと思うからです。</p> <p>良くなかった点は、私はありませんでした。ただ、それは、私が素晴らしい先生に担当していただけたからであって、他の先生が担当していたらこのように思っていなかったように思います。私の先生は、会話重視の授業を展開してくださったのですが、他の先生はライティングや文法を主に扱っていたようです。</p>
2) 課外プログラムについて
<p>放課後1時間ほどで、参加者同士で会話をするプログラムと、スポーツをするプログラムがありました。どちらも無料で、私は毎週参加していました。そこで出会った台湾人の友達と、プログラム外の時間でも交流するほど仲良くなれました。</p>

交流等について

1) プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
<p>現地の学生とはほぼ交流はありません。語学学校には英語学習者しか基本いません。CCELにはアジア系の学生が多いですが、同じくらいの年齢で流暢に英語を話している姿を間近に見ると、とても刺激されます。また、同じ日本人であっても、年齢は様々です。ワーホリでできていた方との交流は特に印象的です。「こういう生き方もあるのか」と気づかされました。皆さん目がキラキラとしていて、楽しそうに生活していました。私の中では、最も感銘を受けたのはワーホリで来ていた方々との出会いです。</p>
2) プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
<p>台湾人の友達とは、大学の敷地内にある卓球で遊びました。今でも鮮明に思い出せるほど楽しい時間でした。</p>

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
<p>バス停の名前を運転手が言ってくれないこと。食事は基本的にワンプレートで、野菜は少ないこと。</p>

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

<p>この研修が私の人生に大きく影響するものだったと確信しています。それは、帰国後の生活を送っていて気づいたことなのですが、性格が明るく、そして、大胆になったように感じます。そのように変化した理由は、人の目をあまり気にしなくなったからだだと分析しています。留学中は、人にどのように見られているかよりも気になることがたくさんありました。例えば、市内の建物です。近代的なビルと趣深い教会が混在している様子は私の心を揺さぶりました。</p> <p>留学したらもれなく性格が明るくなるとは言えませんが、何かしらの変化があることは確かです。挑戦してみる価値はあると思います。</p>
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	個人渡航型 海外研修プログラム 2024年夏季 EF マルタ校
-----	---------------------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	51905 円	学生寮に別途二食付き
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	7862 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 徒歩7分)
教養娯楽費	47482 円	
被服費	0 円	
雑費	37689 円	
その他	153755 円	例: 留学期間中の個人旅行(交通費 食費 宿泊費 観光費等)
合計	298693 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか 現金の用意方法: 日本にて日本円10万円分をユーロに両替 その他用意した物: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください クレジットカード
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。 30日分の sim カードを持参し、足りなかった分は現地から esim1週間分を購入しました。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか 現地で風邪をひいたため、日本製の風邪薬や解熱剤を持参しておいてよかったです。プラスチック製のカトラリーセットがごはんを食べる際にかなり役に立ちました。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等) <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？ 渡航前に近隣地域の治安について調べ、現地ではスリ対策としてバッグが体の前にくるタイプのショルダーバッグを使用していました。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 特に問題なく使用できました。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	2) 部屋の形態 <input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

滞在先の寮は部屋に虫が入ってくるが多かったため、防虫効果のあるスプレー(飛行機に持ち込めるタイプのもの)を持参していてよかったです。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

日本とは全く異なる授業形態で、海外の人たちと交流・会話できる機会がたくさん設けられていた。現地の先生とうまくコミュニケーションが取れず、スピーキング授業についていけず苦労したためクラスを下げることになった。クラス変更後は楽しく授業を受けられた。

2)課外プログラムについて

毎日たくさんの種類のアクティビティが設けられており、アクティビティならではの経験(スピードボートや、深夜の天体観測など)が出来た。

3)現地での生活に関すること

学校だけでなく寮にも EF スタッフが在中しており、学校には日本人スタッフもいたため、何か本当に困ったことがあればすぐに相談できるという安心感があった。マルタは比較的治安が良い場所であったため、過ごしやすかった。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

同じ授業で仲良くなった人とアクティビティに参加した。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

同じ寮の学生と一緒に外食したり、一人で観光に向かった場所で話しかけられた観光客と一緒に会話しながら観光したりした。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

授業内での生徒の発言の積極性の違いに驚かされた。海外の生徒のほとんどが自分の回答の間違いを恐れることなく臆さず発表していて、にぎやかかつ自由という点で、日本の授業と空気感がまるで違った。皆自分の意見にはっきりとした理由をもっているため、何か質問をされ、それに対して回答をすとなかなりの頻度で『Why?』と聞かれた。普段からあまり理由や根拠を自分の中で落とし込まないまま、なんとなく物事を判断していたことを実感させられた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

一か月の短期語学留学前後の自分を比較し、最も変化を実感したのは「度胸と自信がついた」ということです。ひとりで海外に向かった経験など全くなく、英語力に自信があるわけでもなかった私は、両親からの勧めと、せっかくの夏休みだから何かひとつでも自身を成長させたいという思いで今回の留学を決めました。留学先では英語で言いたいことを上手く伝えられずもどかしさを感じたり、衛生面やインフラなどの違いにショックを受けたりすることもありました。しかし、仲良くなったクラスメイトと拙いながらも英語で会話をするのは楽しく、なによりお互いに意思疎通ができ、地域も言語も環境も異なる国の友達が沢山できたという事実が、確かな自信に繋がりました。そしてその自信をもとに、英語で人に声をかける度胸ができました。往路の飛行機の機内アナウンスが全く聞き取れず、現地の宿泊先への送迎スタッフとも合流できずに、ひとりただ困ることしか出来なかった私ですが、帰国後は街中で困っているような外国人観光客に自分から話しかけられるようになりました。話しかけることが出来た理由は自分の英語力に対する自信ではなく、留学で身に着けた度胸と、経験からくる自信です。留学先で出会った人との会話や関わりを通じて、自分の英語の語彙力・表現力の乏しさを痛感すると同時に、英語力を上げて世界中の人と話がしたいという新たな夢も生まれました。度胸と自信の次には、確かな実力が必要です。この夢を実現させるため、今後もさらに英語の学習に力をいれていきます。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	CCEL クライストチャーチ英語研修
------------	--------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約 50,000 円	日本よりも物価が高く外食は一食 2000 円ほどした
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	2,874 円	
現地通学費	4,587 円	(研修先まで 60 分)
教養娯楽費	約 50,000 円	
被服費	0 円	
雑費	約 5,000 円	
その他	約 10,000 円	例: お土産代
合計	約 132,461 円	

渡航準備について

- 1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか**

現金の用意方法: 現地のショッピングセンター内にある両替所で両替
 その他用意した物: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート

- 2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください**

キャッシュレス決済が主流のため、現金を使用する場面はほとんどない
 事前に現地通貨を用意しておらず全ての支払いをクレジットカードで済ませていたが、カジノで現金が必要だったため初めて両替をした
 現金がなくても余裕で生活できる

- 3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。**

事前に Trip.com で eSIM を購入しインストールした
 eSIM のため SIM を交換をする必要がなく、現地到着後にアクティベートするだけで良いため便利だった
 動画を見たりインスタを使いすぎなければ 30 日/10GB で十分

- 4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか**

家の中でも土足だったため運動靴の他に室内用のサンダルを持っていった
 洗濯機が力強いので洗濯ネット必須
 水が 500ml で 300 円ほどして高いが、水道水が飲めるため水筒推奨(私は現地で購入した)
 足りないものは現地で買い足せば良いと思っていたが、日本よりも物価が高いため
 必要最低限のものではできる限り用意して行った方が節約になる

現地情報

- 1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)**

なし あり (問題の内容や相談した人等:)
 特記事項:

- 2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?**

お財布には必要最低限のものしか入れなかった
 治安が良く犯罪に巻き込まれたことは一度もなかったが、住宅街は街灯が少ないため暗くなってからは注意が必要

- 3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。**

eSIM でも難なく使用できた
 ホームステイ先では WiFi が使用できた
 学校にも WiFi が飛んでいるはずだが、私の滞在中は工事中で使えなかった

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4) 感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
若い男女のカップルだった、2 人とも非常に優しかった 週末に一度だけドライブに連れて行ってくれた 朝ご飯はシリアルかパンを自分で好きに食べる感じ、夜ご飯は 6~7 時頃にワンプレート テーブルを使わない家だったため膝の上で食べた(スタンダードかはわからない) シャワーは毎日浴びられた 何時に帰宅してもいいが 6 時過ぎる場合は連絡するようだけ言われた	

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
授業は 8:30~13:00 と早めの時間だったため、朝早いとその分授業後に自由時間がたくさんあった 宿題は毎日プリント 2、3 枚ほど 授業の文法は高校受験レベルのため簡単に感じたが、英語が読めるけどしゃべれない、単語の意味はわかるけど使えない、という典型的な日本の英語教育を実感した クラスはレベル別に分かれており、私のクラスは生徒も先生もすごく優しく、授業も楽しく当たりだった クラスによって授業が楽しいかは差がありそうだった
2) 課外プログラムについて
毎週木曜の授業後に sports activities、金曜は conversation class が実施され、それらに参加すれば他のクラスの人とも関わることができた 日曜日にアカロアヘイルカを見に行くツアーにも参加した
3) 現地での生活に関すること
学校は日本人が多かったが、他にも中国人やタイ人も多かった 大学 2 年の必修授業以来 2 年ぶりに英語に触れた私でもなんとかなったから、絶対大丈夫

交流等について

1) プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
大学内に併設されている語学学校に通っていたため現地学生と交流する機会はなかった
2) プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
私の滞在中のクライストチャーチには電車がなく、交通機関はバスか車、後自転車ぐらい そのため通学にバスを使用した、アナウンスはなく掲示板もないため Google マップで確認しながらじゃないと大体乗り過ごす、バスが時間通りに来ることの方が少ない また、運転が荒く急発進急ブレーキのため、車酔いしやすい人は注意が必要

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

今までほとんど海外経験はなかったが、大学生のうちにしかできないことをしたいと思い 4 年の夏に短期留学を決めた。語学学校には日本人も多かったが、異なる生い立ちや社会的背景を持っている人と交流することができ、すごく刺激になった。日本で暮らしていたら絶対に経験できなかったことが沢山ある。たった 1 ヶ月だったが、大学 4 年間のうちで最も充実していた 1 ヶ月だったと言いきれる。安直な感想だが、本当に楽しかったし今回の研修に参加してよかった。留学を迷っている人がいたら、今すぐ参加を決めてほしい。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	LSI ポーツマス英語研修
------------	---------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	22100 円	平日の昼食はスーパーで買ったり、日本から持ってきたカップ麺などを食べるようにしたりと節約していました。
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	1975 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 徒歩 15 分)
教養娯楽費	36400 円	ロンドンやオックスフォードなどでの観光費(宮殿や教会の入場料)・学校のアクティビティ代
被服費	4700 円	
雑費	15100 円	お土産代
その他	27670 円	例: 交通費(ポーツマス⇄ロンドン・オックスフォード、フェリー)・日用品の買い足し等
合計	107945 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 百貨店の両替店や大黒屋で両替 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
キャッシュパスポート …自分がどれだけ使ったかをリアルタイムで知ることができたのが助かった。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
Giffgaff(イギリス通信会社の SIM カード) …日本で設定ができ、現地に到着してからは SIM カードを入れ替えるだけで良かった。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
<< 準備して良かったもの >> ・日本の食べ物(カップ麺やサトウのご飯、インスタント味噌汁)…節約にもなるし、毎日のパン・ジャガイモ生活に変化が欲しくなるから。また、他国から来た生徒に食べてもらうのも面白かった。 ・延長コード ・ウェットティッシュ << 準備したほうが良かったもの >> ・長袖の洋服…8 月でも朝晩や雨が降った日は寒かったので、もっと持っていくべきだった。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
ちょうど日本から渡航する前後に激しいデモがありました。学校経由で登録した外務省のたびレジから情報を収集することができた。 スリが多いと聞いたので、スリ対策には念を入れました。(例: 必ずチャック付きの鞆を持つ・お財布に見えない財布を持ち歩き、鞆の奥にしまう・クレジットカードは複数個所に分けて保管する等)
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

日本に比べてネット環境は圧倒的に悪く、スーパーの中にも圏外になることも頻繁にありました。これが SIM カードのせいなのか元々の通信環境が悪かったのかは分かりませんが、大体の場所(スーパー含めて)にフリーWi-Fiがあったので心配はいらないかなと思います。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4) 感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
初めてのホームステイで言葉が通じるか不安だったのですが、結局はコミュニケーションをしようとする姿勢が大切だと改めて思いました。私を受け入れてくださったホストファミリーは本当に明るくて優しい方たちで、とても居心地がよかったです。友人の様子を聞くと、正直、ホームステイ先によってファミリーとの関係の築きやすさは異なると感じました。(できるかは分かりませんが)渡航前にあらかじめ家族構成や雰囲気などの希望を出しておくかと安心ではないでしょうか。もし渡航後に合わないと感じたら引っ越しもできるみたいなので、過度に心配しなくても大丈夫です。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
授業で良かった点は、身近なトピックやゲームを通して楽しく英語を学べることです。105分×4コマ、月曜から金曜(金曜は2コマ)までみっちり英語漬けで、ヘビーかと思いきやあつという間に時間が過ぎていきました。また、クラスも少人数なので発言しやすい雰囲気があったのも良かったです。学校の授業では学ばなかった微妙な表現の違いや日本人特有の発音の癖を知ることができ、たった3週間でもぐっと成長できました。 逆によくなかった点としては、仕方がないとは思いますが、私のクラスは日本人の割合が極めて高かったことです。特に最後の週は11人中10人が日本人、という状況でした。クラスによっては日本人が1人のところもあったので、ここは運次第だと割り切るのがいいかもしれません。でも、せっかく海外に来たなら日本以外の国の人と英語で交流したかったので、少し残念でした。それでも、お昼休みなどは他のクラス・日本人以外の友人と過ごせたので、もし私と同じ境遇になってしまってもそこで挽回できると思います。
2) 課外プログラムについて
無料のものと同料のものがあります。ウェルカムドリンクやポーリング、ビーチバレー、ビリヤードなどなどインドアもアウトドアもあるので、どれか一つでも気になるものがあれば積極的に参加した方がよいと思います。そこで新しい友達を作っている人も多かったです。週末の小旅行も、自分達だけだったら絶対行かないような都市に行けるのでオススメです。私は学校のプログラムを利用してブライトンという街に出かけました。
3) 現地での生活に関すること
ポーツマスは比較的治安がよい方だと思いますが、たまにガラの悪い人達もいるので日没後(大体 20:30 頃)は基本バスで移動した方がいいです。 放課後や週末に出かける際は、ホストファミリーに帰宅時間を早めに連絡するよう心掛けていました。

交流等について

1) プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
現地の大学も夏季休暇中だったので、ポーツマス大学の学生との交流はありませんでした。
2) プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
現地学生とは交流しませんが、語学学校に通う生徒同士ではよく交流していました。一つ例を挙げると、トルコ人と日本人 10名ほどお互いの国の料理を作りあった日がありました。日本の料理やお菓子を食べる度に新鮮なリアクションをくれて、とても楽しかったです。お互いの言語も教え合って、まさかイギリスでトルコ語を学ぶことになるとは想像もしていませんでした。これも、世界各地から人が集まる語学学校ならではの体験だったと思います。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

- ・毎日“Would you like a cup of tea?”と聞かれて、イギリス人は本当に紅茶が好きなのだ実感しました。
- ・夕食は全てワンプレートで、毎日茹でたジャガイモや野菜・豆が出てきたところに一番食文化の違いを感じました。
- ・人口の多いポーツマスでもご近所付き合いが濃いと驚きました。ホストマザーが、どこが誰の家かを殆ど全て把握していると言っていたのが印象的でした。
- ・語学学校の先生がオープンに政治の話や自らのプライベートな話をしていました。日本の学校ではあまりないことだと思うので、新鮮に映りました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

3週間では足りないと感じるくらい、とにかく楽しくて中身の濃い時間を過ごしました。今まで海外研修に行った経験がなかったので、特に語学面が不安でした。最初は分からない単語が出てきても質問できず、聞き取れない時もありあえず頷いてしまう時がありました。しかし、私たちは英語を学びに来ている学生であって、英語が分からないことは当たり前です。そのことに気づいてからは、理解できなかった時に素直に質問できるようになり、英語の上達も加速したと考えます。来年以降留学に行かれる方は、分からないことを分からないと素直に意思表示することを恥だと思わないことをお勧めします。ポーツマスの先生方はとても優しいので、あの手この手で分かるまで指導していただけます。その素晴らしい環境を最大限利用しましょう！

私は大学4年生で就職先が決まった状態で留学に行きましたが、今回の経験を経て自分の中の選択肢が格段に広まったと考えます。具体的には、転職など長い目のキャリアを見た時に、英語を使う・海外の人と協働する職種もいいなと思うようになりました。留学後で英語学習のモチベーションが上がっているので、このモチベーションを維持してせっかく増えた選択肢を潰してしまわないように努力します。また、実際にイギリスに住む方と交流するなかでイギリス文化に対する関心が高まったので、語学だけでなく歴史や文化についても学習を続けようと思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	個人渡航型夏季短期研修サイモンフレーザー大学プログラム
------------	-----------------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	4,000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	7,000 円	SIM,ギガ
現地通学費	15,000 円	(研修先まで45分)
教養娯楽費	41,000 円	移動費、入場料、カフェなど
被服費	30,000 円	お土産含む
雑費	14,500 円	お土産
その他	0 円	例:
合計	111,500 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: その他用意した物: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
現金不可の場合があったためクレジットカードが役に立った
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
SIM カード
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
マイボトルは持って行って良かった バンクーバーは夏でも肌寒く感じる日があるので長袖の洋服があると良かった

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
現地についてのからのエージェントのオリエンテーションを受けて危険地域を知った。その地域に行かないだけでなく、その地域を通るバスにも乗らないように対策を取った。貴重品は常に携帯するように心がけていた。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
学校とホームステイ先では WiFi があった ポケット WiFi などよりも SIM のほうが確実にインターネットに接続できていた

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
シャワーを使える時間帯や時間(15分くらい)は決められていることが多い

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
授業クラスはレベルごとに設定されているので同じレベルの仲間と一緒に頑張れる。構内での授業だけでなく、放課後のアクティビティーや週1回のフィールドワークが充実しているので楽しみながら学習したり異文化に触れたりできる。 ただ夏休みなのでほとんどの学生が日本人だった
2)課外プログラムについて
週1回のフィールドワークでは学校からバスで行ける範囲にある博物館やマーケットに行った。ただの遠足ではなく、そこに関する歴史や説明を聞きレポート提出があるのでよい学びになった。放課後のアクティビティーは週に3日くらい予定されていた。無料のものも有料のものもあるが参加はすべて任意なので行きたいところに参加すればよい。
3)現地での生活に関すること
ダウンタウンを中心にいろいろな場所へ行きやすい。 バスやスカイトレインは日本の公共交通機関よりも簡単。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
現地の方と交流するためには自分から積極的に行動して、観光やショッピングに行ったことがよかった。 また家では食事の時間にホストファミリーと話すことが多かった。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
街中を歩いているだけでも本当に多様な人種がいることに気が付いた。カナダは移民の国で、みな人種や国籍を気にしていないように見えた。みんなが違うことが当たり前でどんな人にも寛容な優しい国だった。白人系やアジア系、アフリカ系などの人々がいて言語も英語とフランス語の両方を見かけることが多かった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私は2年生以降に中長期の留学を目指していて今回の短期留学は自分の実力試し、英語力向上を目的に行きました。私がこのプログラムを選んだ理由は英語の授業時間数を多く取りたかったこと、それだけではなく現地の文化にふれる機会がほしかったことが大きいです。授業は留学生を教える専門の先生方が行うので、わかりやすく学べました。クラスの雰囲気は間違えることを恐れない、間違えても支えあう良い空気感がありました。授業は個人の課題に加えてペアやグループでの活動もあり周りの人とのコミュニケーションを大切にしていました。プレゼンも各授業で1回ずつくらいあり、英語で発表することのとても良い練習になりました。週1回のフィールドワークでは毎回違う場所へ赴き、各場所やテーマに関する歴史を先生の解説を聞き、実際に目で見ることで印象が残りました。ホストファミリーは食事の時間にその日の出来事や週末の予定を気にしてくれていました。最初のうちは短い文で会話することが多かったけれど、後半は長めの文で言いたいことを伝えられるようになりました。また毎朝見ているニュース番組はだんだんと内容まで聞き取れるようになったことが嬉しかったです。先生にもクラスメイトにもホストファミリーにも恵まれてとても充実した4週間を過ごすことができました。これからはさらに熱心に英語の学習に取り組み、来年以降の目標を達成できるように頑張ります。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	LSI ポーツマス英語研修
------------	---------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	38000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	5000 円	Esim トリファ
現地通学費	0 円	(研修先まで 徒歩35 分)
教養娯楽費	90000 円	
被服費	0 円	
雑費	3000 円	
その他	22000 円	例:お土産代
合計	158000 円	

渡航準備について

- 1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:
その他用意した物: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート
- 2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
デビットカード 週末の旅行などで予約が必要な場合、確実に買うことができているのかの確認として引き落としの有無がわかったほうが安心できる。
- 3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
ESIM (トリファ) 通信速度も特に問題なかった。私は、ahamo を使っていたので最初の15日はESIMを使わず、残りの日程をESIMで過ごした。だいたい20日ぐらいだと思うが家にも学校にもWiFiがあったので10ギガで十分だった。
- 4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
長袖の服・防寒具 イギリスはとても寒かった。そのため、ハンディーファンなどは邪魔になった。また、日傘もイギリスや多くの国に習慣がないらしいので必要ないと思う。現金 電車賃など(3人以上のまとめ買いでグループ割が使えるので)を割り勘した際に役に立った。また、ドライヤー・ヘアアイロンなど自分が使うものは持って行った方がいいし、一か月ほど滞在するのなら爪切りや前髪を切るためのはさみなどがあると便利だった。

現地情報

- 1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
 なし あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:
- 2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
インターネットで調べる・旅行会社の方の話を聞く
夜中に一人にならないようにする。なる場合はバスなどを利用する・近くの友達の家に泊めてもらう。荷物から目は話さない
- 3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
とことろつながりづらい時がある。目的地までの行き方は事前に調べておくといい。友達と電話をするときはWhatupやインスタグラムを使った。おそらく通信料がかからないのでとても便利だと思う。日本の家族とはLINEでやり取りをしたがそこまで利用しなかった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
---------------	----------

<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
人によって滞在先での経験やルールが大きく異なる。私の家は特にルールもなく禁止事項もなかったが、その分自分で自分のことをやるというスタンスだったと思う。自分の理想と違うと思ったら、自分からホストマザーに働きかけることも大切だと思った。実際に、ホストマザーに言ったことで、こちらの考えを理解し協力してくれるようになった。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。	
授業も先生も生徒も学校もとてもよかった。サポートも充実しているし、授業もわかりやすく、フレンドリーで優しい生徒が多いと思う。しかし、3週間目から他大学の日本人グループが来るので、日本人がとても多くなってしまった。しかし、そとくに、後半の週になると多くの人が学校を去ってしまい、人種の偏りが大きくなった。例えば、私の五週間目のクラスは日本人4 サウジアラビア4 ウクライナ1 だった。一方、一週間目は日本人3 サウジアラビア3 トルコ1 スイス1 フランス1 ウクライナ1だった。	
2)課外プログラムについて	
とてもよかった。バレーボールがある程度できるとより楽しめると思う。しかし、人が少なくなった週の後半は多くのアクティビティが人数不足で中止になってしまった。また、私は主に8月中学校に滞在していたが、9月に比べて毎週固定されたアクティビティが多かった。(8月だけ毎週水曜日ビーチバレー、金曜日のフットボールなど。)	
3)現地での生活に関すること	
私は人見知りでも英語も得意でないため、1週間目は本当につらかった。まず、ホストマザーもホストメイトも何を言っているのかわからなかったし、授業も理解することができずクラスを変更することを進められるほどだった。しかしクラスを変えず5週間過ごした。周りの人にたくさん助けをもらい、最終的にはとても成長できたように感じた。5週間目の最終週は、授業の内容が聞き取れず困ることはほぼなくなったし、会話も少しだが続けることができるようになった。学校の最終日には泣いてしまうほど充実した経験ができた。	

交流等について	
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。	
現地学生との交流は特になかった。	
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。	
同じ学校の友達と、それぞれの国の料理を作ったり、ロンドンなどに小旅行に行ったりした。ポーツマス内では、ショッピングモールがあったので、ボーリングやゲームセンターに行ったり、映画館に行くなどして過ごした。学生向けの寮を友達が使っていたのでたびたびそこに集まり、映画鑑賞や小さいパーティーなどもした。もちろん学校のアクティビティにも参加した。	

異文化体験について	
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。	
イギリスの人は基本的にやさしくて困っていたら助けてくれることが多かった。 学校に通っている多くの生徒が時間にルーズだと感じた。 道端でタバコを吸っている人が多い 雨の日に傘をさす人がとても少ない	

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

<p>留学に行くか迷っているのなら、絶対に行くべきだと思う。私も、迷っていたし、留学に対して様々な不安や恐怖があったが、行ってみたらとても楽しく、いってよかったなと思った。私は5週間だったが、3週間だと足りないと感じた。実際に3週間と言った人も足りないといったことを言っていた。4か5にすべきだと思う。5週間目から、明治大学のプログラムに参加している日本人が一気に減るため、本格的に異文化交流をすることができるようになった。それまで日本人とばかり話していたので、今思い返すともったいなかった。留学に行ったことで、自分の英語力のなさを自覚することができ、英語学習への意欲をあげることができた。将来の夢も決まっていなかったが国際関係や英語を使うものを目指してみてもいいのではないかと思い始めてきた。</p> <p>イギリスの治安は想像よりも悪くなく、むしろ多くの人が優しくかった。学校や家・街中でも、人見知りであることから多くの人にやさしくしてもらったし、助けてもらった。たった5週間ではあるが、留学後には人付き合いや英語に対する考え方がよい方向に変化した。人見知りであることや英語ができないことを懸念して留学を渋っている人こそ絶対に行くべきだと断念することができる。</p>
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	個人渡航型 EF 校プログラム EF トロント校
------------	--------------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50000 円	一食約 2000 円が平均
図書費・学用品費	円	
携帯・インターネット費	12000 円	
現地通学費	10000 円	(研修先まで 50 分) 娯楽目的の交通機関使用費用込
教養娯楽費	40000 円	
被服費	30000 円	
雑費	170000 円	旅行費(ニューヨーク), 国内観光費、
その他	円	例:
合計	258000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本で両替しました。どの会社で両替するかは、その時の為替相場によって決定する方がよいです。 その他用意した物: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカードは交通機関の改札にかざしても使用することができ、クレジットカード使用不可のお店は見たことがなかったです。しかし海外での使用にあたって、自動的に使用制限をかけられてしまうことが多くあるため、急に使用不可になってしまった場合のために、二枚用意していくことをおすすめします。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
Esim を使用しました。Sim カードの入れ替え作業が省かれるので、とても楽にインターネットに接続することができます。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
電子レンジで炊飯が可能な容器を準備するとよいです。日本食は現地で販売していますが、日本の三倍はするので、インスタントの味噌汁、無洗米、ごはんパックは必須です。また、モバイルバッテリー、エコバック、昼食を学校に持参する用の小さいタッパーなどもあれば助かると思います。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
外務省のカナダに関する事件対策共有メールを受信するようにしました。大学提携の保険に加入することで自動的に配信設定がなされると思います。また、盗難防止対策として、手荷物は常に自分の前に持つことを心がけていました。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
わたしは eSIM を利用していたのですが、問題なく使用できました。ただ、多くの eSIM は電話番号、SMS の使用が不可です。そのためカード会社の問い合わせを要する場合は、代理人にお願いしなければなりません。しかしカードの手続き内容によっては、カード名義人本人でなければ契約負荷の内容もあるため、心配な場合は SIM カードの移し替えをお勧めします。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
----------------------	-----------------

<input checked="" type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2 人)
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
夏は日本に比べてとても涼しいです。(15度くらい) 交通機関は google map を利用して簡単に理解できます。トロントには日本人の学生も多く、自分次第で英語を使用する機会は変化してきます。英語の能力を向上したいのならば自分から積極的に遊びに誘ったり、授業内での発言を通して英語を使うことをおすすめします。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。	
学校の先生は、先生によって英会話重視、文法重視の授業をするひとでわかる。先生は自分では選択できないので、自分のニーズに合ったような先生に変更してもらうことをおすすめします。	
2)課外プログラムについて	
観光場所によっては自分で行った方が安い観光地も存在するため、よく調べてからいくことをおすすめします。また、ツアーだと時間に限りがあるため、個人的には個人で観光することをお勧めします。	
3)現地での生活に関すること	
ジャンクフード店がほとんどを占めており、日本食品店は全て高値のため、寮生活の方はインスタントの日本食品を持参することをお勧めします。また、都心なので夜間の治安はとても悪いです。夜間の外出は控えたほうがいいです。	

交流等について	
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。	
フランス人の学生がほとんどです。学校側から交流の場を設けてくれる機会が多くあり、積極的に英語を使用する機会が多くあります。授業内でも、先生から意見を求められることがあるためついに集中して英会話に励むことができます。	
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。	
ルームメイトが他の国籍の場合、日常内で英語を使用することができます。また学校内に交流スペースがあり放課後に友達とボードゲームやカフェブースを利用して交流を深めることができました。学校外では、ショッピングに行き、日常的な英会話力も向上することができました。	

異文化体験について	
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。	
日本よりも町の人々がフレンドリーで、公園、観光地先で出会った方が「日本が大好きです」と声をかけてくれることが多くあり、そこから互いの文化を共有することにつながった。また日本買い物をするときは、会計後に「ありがとうございました」といわれて終了だが、カナダはここにフランクな会話に加えられます。会計中の少しの沈黙の中でも、「今日はどこから来たんですか?」とか「あなたのお洋服とても素敵ですね」など、本人たちは意識していないのかもしれないですが、日本のマニュアルに即した接客ではなく、友達と接しているかのような気持ちのこもった対応にとっても魅力を感じました。	

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

<p>多くの人が、留学をすれば英語は自然に上達する、という考えを持っていると思います。しかしこれは間違いです。実際に一か月異国の地で生活してみても思ったことは、「やりたいと思ったことを実行して初めて成長する機会を得ることができる」ということです。これは留学中でなくて、普通の大学生活でもいえることだともいます。将来自分がどのような強みを持った人間になりたいのか、時間に余裕のある大学生のうちに考えてみてほしいです。多くの大学生が、バイトや遊び、旅行など楽しいことばかりに目を向けてしまいがちです。しかし私は大学二年生で留学を経験し、あることに刺激を受けました。世界には自分よりもっと若いころから、目標や夢に向かって自発的に行動している人がいることです。先を見据えることは面倒だし、はっきりとした目標のない学生も多いでしょう。そういうひとこそ、失敗が許される大学生のうちに、いろいろなことを経験して、自分にとって何が大切なのかを探し出してほしいと思います。</p>
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	Kings オックスフォード英語研修【夏季】
------------	------------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	70000 円	スーパーマーケット、外食
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	12000 円	eSIM を利用していたが、現地で通信障害に遭い、再度購入したため
現地通学費	3000 円	(研修先まで 20 分)
教養娯楽費	1100 円	Punting
被服費	20000 円	
雑費	50000 円	お土産等
その他	19417 円	例: クライストチャーチツアーなど
合計	175517 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: その他用意したものを: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカードですべて支払えた。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
eSIM Orange 通信会社と World eSIM を利用した
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
長時間のフライトの為、ネックピローは役に立った。お箸やマグカップ、少しはフリーズドライのお米やお味噌汁も持って行っておいでよかった。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
外務省の旅レジに登録して情報収集をしていた。犯罪には巻き込まれていないが、地下鉄では特に周囲の人の目を気にした。かばんはチャックがついていないものは日本から持ってこないようにした。お土産を買った紙袋にお財布やスマホを入れないようにした。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
二週間目にいきなり外でスマホが使えなくなり、通信会社に問い合わせた。通信障害であるメールが届いたが、復旧を待つ前に、新しい eSIM を購入した。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
毎日ハウスキーピングの方がごみを収集や掃除もしてくださるので清潔感があったし、ある程度プライベートが保たれている空間だと感じた。部屋を共有する子とも仲が深まった。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
Reading, Writing, Listening, Speaking の4技能取り扱うが、Reading と Speaking の割合が高いように感じた。やはり日本人は Reading や Grammar はできるが Speaking への抵抗がある場合が多いので、最初の一週間は気疲れしていた。また、一つの意見に対して必ず理由を聞かれるので、思考力もより求められると感じた。慣れてからは、使えるフレーズなど少し習得することができた。先生も、ネイティブでない生徒の対応に慣れている様子で優しかった。 良くなかった点は、週によって休み時間のばらつきがあって短い週と長い週があったため混乱した。建物の部屋の場所が少しわかりにくかった気もする。
2)課外プログラムについて
Punting と Pub でのボードゲームに参加した。様々な国からきた子たちみんな優しく仲良くなることができた。Punting は Oxford の景色を楽しむことができたし、日本ではあまりすることができないことだと思った。Pub でのボードゲームは、モノポリーやチェスをして遊んで楽しかった。
3)現地での生活に関すること
とにかく物価が高いので、毎日の食費でかなり消費した。果物や野菜はそこまで高くないしおいしかったのでできる限り自炊すると良いと思う。カフェやレストランもモバイルオーダーのところもいくつかあった。交通機関も困らず、バスも頻繁にあった。しかし郊外に出た際にタクシー移動をしようとしたが、日曜日は本当にタクシーがいなかったなのでそこは不便だと感じた。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
ドイツ、トルコ、サウジアラビア、イタリア、台湾、フランス、韓国など様々な国から来た子たちとコミュニケーションとることができた。中には放課後一緒に遊びに行ったり、休み時間にカフェに行ったりアクティビティを一緒に行く約束などをしたりした。SNS を交換して、もしその国に行くことがあれば連絡する約束をした。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
ランチしたり、買い物をしたり、コミュニケーションとるために精一杯の英語力で話した。時々、お互いの言語を教え合って打ち解けられる場面もあった。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
信号は赤でも平気で渡る。土日は家族で過ごす人が多い。挨拶を大事にする。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

家族や友達と離れて一人で海外に行ったことがなかったため、いい機会だと思いこのプログラムに参加しました。寮から学校までは20分くらいあったがオックスフォードの街並みがとても美しく、気候も過ごしやすいため毎日歩いても全く苦ではなかったです。そして、何より一番楽しかったことは、色々な国の子と仲良くなれたことです。3週間の滞在は本当にあっという間で英語を話すことへの抵抗が無くなってきたころに帰国という感じでもっと居たいと思いました。もし、後輩の皆さんの中に短期留学へ迷う気持ちがあっても、ぜひ挑戦してみてください。短期留学はまだ海外に慣れていない方でも挑戦しやすいと思います。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	CCEL クライストチャーチ英語研修
------------	--------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	15000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	6000 円	
現地通学費	4500 円	(研修先まで 40 分)
教養娯楽費	5000 円	
被服費	0 円	
雑費	0 円	
その他	40000 円	例:お土産
合計	70500 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本で両替 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
現金はほとんど使わず、クレジットカードを使っていた
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
SIM カード
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
風邪薬

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
荷物を常に持ち歩くようにした。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
問題なく使うことができた。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

家にあるものは基本的にすべて自由に使うことができ、生活しやすかった

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

初日にテストを受け、自分のレベルにあった少人数のクラスに入ることができ、クラスを変えたい場合も先生に相談することができた。スピーキング、リスニングを中心に勉強した。少人数で先生もフレンドリーな人が多かった。

2)課外プログラムについて

曜日ごとに授業後に決まったアクティビティがあり、スポーツや英会話、クッキングアクティビティに参加した。週末の日帰り旅行に参加し参加料は別でかかるがバスや昼食代も含まれていた。

3)現地での生活に関すること

バスで行けるところがほとんどなので移動が不便なことはなかった。何か聞きたいことがあったら研修校のスタッフの人が相談に乗ってくれて助けてくれた。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

放課後のスポーツアクティビティなどで交流した。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

放課後にバーベキューをしたり、ハイキングに行ったりした。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

バスの中で話しかけられて、フレンドリーで優しい人が多いと感じた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

英語の勉強だけでなくほかの国から来た人たちと関わって異文化を実際に体験できたので行ってきてよかったです。もっとたくさん人と会話できるようにより英語の勉強を頑張りたいと思うようになりました。ニュージーランドは自然に囲まれていて、市内には観光できる場所もあり生活しやすかったです。毎日様々な国の人たちと一緒に英語を勉強し、家でもホストファミリーと英語で話すので英語の勉強とさらに、現地で様々な人と交流したいと思っている人にはよい研修先だと思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	LSI Portsmouth 英語研修
------------	---------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	円	
図書費・学用品費	円	
携帯・インターネット費	約 3000 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 歩いて 25 分)
教養娯楽費	円	
被服費	円	
雑費	円	
その他	円	例: 飛行機代、ロンドン往復代など
合計	約 900,000 円	

渡航準備について

- 1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法:
 その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート

- 2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください

現金はあまり使うことがなかったので、緊急用の現金とクレジットカードだけ用意してもいいと思います。数料なしの ATM も結構あるので、もし現金がいる場合はそこを利用するのもいいと思います。

- 3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。

E-SIM を買って行きました。携帯用の WiFi を用意した友達がいきましたが、電波が遅い上に、重いのをいつも持っていかないといけないのが不便だと言われて、E-SIM の方がより便利ではないかと思っています。

- 4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

私はお昼だけ自分で解決すればよかったので、何も持って行かなかったが、周りの子たちはお米やコップラーメンなどを色々持ってきて、私も持ってこればよかったなと思いました。多くはないけど少しは持って行ったほうがいいと思います。

現地情報

- 1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)

なし あり (問題の内容や相談した人等:)
 特記事項:

- 2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

元々は週末にブライトンに行く予定だったのですが、ちょうどその週にデモが起きて安全ではないかもしれないと聞いて、ブライトンの代わりにロンドンに行きました。

- 3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

普段はよかったのですが、海の方面や地下のお店に入ったら接続が悪かったことが結構ありました。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4) 感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
<p>私はおばあさん、ワンちゃんだけだったので、部屋以外は全部共有部分でも不便なことはなかったです。朝食はほとんどパンやシリアルを食べて夕食の場合は、イギリス式の家料理を食べることが多かったです。家から学校までバスで行くこともできますが、行く途中で Vintage shop や本屋やマートのような見どころが思ったよりたくさんあり、街がきれいなので、私はいつも歩いて通学していました。</p>	

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
<p>私は LSI のプログラムがすごくいいと思いました。まず、授業を午前の授業と午後の授業に分けて行うのですが、二つのクラスの先生ともに親切で、英語の総合的な面で助けていた点がとても良いと思いました。たまには、単に教科書の進度を進むのではなく、英語を活用するゲームをして、面白い活動を行うことができました。</p>
2) 課外プログラムについて
<p>放課後に様々なプログラムがあるので、興味のあるプログラムに参加して、みんなで活動を楽しめるという点がとても良いと思いました。そして、先生と一緒に活動を進めるので、安心して活動に参加でき、先生ともよもっと親しくなれる機会があったという点も良いと思います。</p>
3) 現地での生活に関すること
<p>店が遅く開いて、とても早く閉まるので平日には行ってみたい店に行けないという点が少し不便に感じました。しかし、日が日本に比べて遅く沈むので、夕食を食べた後も、海を見に行ったり、友達と会えるという点がいいところだと思います。</p>

交流等について

1) プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
<p>毎週の月曜日には新しい学生たちが入ってくるので、放課後にウェルカムドリンクのイベントが行われます。そして、他にも毎日、放課後に学校プログラムがあるので、様々な国の学生たちと仲良くなれる機会がありました。授業でもクラスメートとディベートをしたりディスカッションをしたりすることが主に行われたので、クラスメートともすぐに仲良くなれたと思います。</p>
2) プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
<p>ホームステイファミリーと親しくなることも多かったです。ある友達は、ホームステイファミリーの孫と一緒に遊ぶこともあり、ある友人は、ホームステイファミリーの娘が大学生なので親しくなることができました。私は、友達のホームステイファミリーの娘と他の学生たちと一緒にボーリングをしに遊びに行っていたことがありました。それから、私のホームステイファミリーが友達を家に招待するとき、一緒に庭で夕食をとり、時間を過ごすことが結構ありました。</p>

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
<p>イギリスで一ヶ月間暮らしながら、文化の違いがかなりあると感じました。まず、一番記憶に残ったのは電車やバスの中で会話をし、食べ物を摂らないことがマナーとされる日本と違い、イギリスではみんなが会話をし、食べ物を食べていることが違うと感じました。そして、イギリスではペットを飼っている人の割合が非常に高いと聞いたことがありますが、実際に街中にペットの排便用のゴミ箱があり、アウトレットに行った時もあちこちにペットのための水筒が配置されているというのが不思議に感じました。最後に、イギリスで</p>

はより多様な人種が集まって暮らしていることを感じました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

たとえ 4 週間しか時間がなかったが、多様な経験を積んで、貴重な時間を過ごすことができたと思います。短期語学研修に行ってきた、一番いいと感じたのは、英語で話すことに自信がついたことです。私は英語を学ぶ時、最も重要な点の一つが自信だと思いますが、今回の語学研修によって私の英語が完璧でなくても自信を持つことで、英語スピーキングの実力が大きく改善されたと思います。そして、語学学校で出会った多様な人種の友達と一緒に交流をしながら、多様な国の文化に対する話を聞くことができた上に、他の文化圏の人々ともコミュニケーションを取ることができたこともすごくよかったと思います。

私は毎週末に別の地域に遊びに行くことをお勧めします。学校では週末ごとに違う地域をみんなで行くプログラムを行っていますが、学校の日程が良ければ、学校のプログラムに参加して、もし自分が別に行きたい博物館や劇場などの場所があれば、自分が友達同士で行って、できるだけ様々な経験を積むのが一番大事だと思います。

それから、ロンドンに行くにはトレインかバスで行く方法がありますが、トレインで行くのが早くて安全だと聞きましたが、実際に私が両方利用してみたら、バスで行った方がより便利でよかったです。トレインと違って、バスでは人がみんな寝ているので、ずっと静かで、値段も安くて、乗り換えがないからです。トレインの場合は、団体の人たちが大声で会話をするのが少なくなく、乗り方がもっと複雑でした。それに、道が混んでいないときはバスがトレインよりも早かったこともありましたのでバスの方をお勧めします。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	個人渡航型 EF 校プログラム サンディエゴ校
------------	-------------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	5万 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	9000 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 0 分) 寮に暮らしていました。
教養娯楽費	10万 円	
被服費	1万 円	
雑費	5万 円	
その他	円	例:
合計	21万9000 円	

渡航準備について

- 1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか**
- 現金の用意方法: 親戚がもっていたものをもらいました。
 その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート
- 2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください**
- アメリカではカード支払いが主流だったので、主にカードを使って支払っていました。
- 3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。**
- eSIM を用意していきました。手続きも簡単で、現地でも特に困ったことはありませんでした。
- 4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか**
- コップはもって行って助かりました。歯を磨く際のがいや、持って行った日本食を食べる際に助かりました。洗濯ネットを少ししか持って行かなかったため、洗濯の際に少し不便に感じました。

現地情報

- 1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)**
- なし あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:
- 2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?**
- 実際に現地を訪れたことのある知り合いに話を聞いたり、ネットで調べたりしながら情報収集しました。お金やパスポートなどは小さな金庫のようなものを持っていき、その中に保管していました。
- 3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。**
- 学校や寮には Wi-Fi があったため、接続は問題ありませんでした。学校外においても、接続に関して困ったことはあまりありませんでした。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2人)

3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
どれも綺麗な状態ではありませんでしたが、生活をするには決して困りませんでした。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
語学学校であったため、授業の中で必ず外国の人と話す機会が設けられていたことが良かったです。また、寮では必ず自分の国以外の人とルームメイトになるように振り分けられていたため、寮生活においても外国の人とのコミュニケーションをとる機会が多くありました。良くない点としては、そうはいつでもそれぞれ自分の国の人同士で固まってしまうため、外国の人と一緒にどこか遊びに行くといったことはあまりできなかった点が挙げられます。
2)課外プログラムについて
自分たちで現地で計画を立てたりしながら色々な場所に出かけました。そこでしかできないような体験ができたため、とても満足しています。
3)現地での生活に関すること
治安の良さからサンディエゴを選びましたが、日本と比べると日本よりかはやはり治安は悪いため、夜遅くに出歩くといったことは危ないように感じました。また、車社会であるため、バスや電車を使うこともできますが、時々不便に感じました。その代わりにウーバータクシーといったサービスがあったため、それを頻繁に利用していました。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
授業のクラスメートや寮内のルームメイトなどとの交流は頻繁にありました。授業内でちょっとしたフィールドトリップのようなものがあり、そこでは同じクラスの人たちとご飯を食べに行ったりする機会がありました。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
アメリカにはチップの文化があり、レストランなどではチップを払わなければなりません。日本にはその文化がなかったため、いくら払えばよいのか分からず、最初は探り探りでした。また、お店で注文をする際に自分から店員さんに声をかけるのはあまりよくないといったことを聞いたため、待たなければならなかったことも少し不便に感じました。ただ、現地の人々はすごく気さくで、道を歩いているだけでも話しかけられる機会が多くあり、そこはすごく面白いと感じました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

現地に行ってから数日間は初めて自分の国以外の人と生活を共にしたため、生活習慣や価値観の違いに困惑しましたが、慣れるとその状況を楽しめるようになりました。現地でしかできないような貴重な経験をたくさんすることが出来たし、自分の中の様々な視点を広げることもできました。迷っているなら勇気を出して絶対に行った方がいいです。英語でのコミュニケーション能力を伸ばすことが出来たと実感すると同時に、もっと英語をしゃべれるようになりたいという思いが強くなり、勉強のモチベーションの向上にもつながりました。今後はより一層英語の勉強に力を入れていこうと思いました。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	クライストチャーチ英語研修
------------	---------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	4万 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	9千 円	
現地通学費	3千 円	(研修先まで 40 分)
教養娯楽費	4万 円	
被服費	0 円	
雑費	2万 円	
その他	円	例:
合計	11万2千 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 空港で両替 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
ほとんどの支払いをクレジットカードで行いました。現金はほぼ使いませんが、メロカード(バスのカード)をチャージする際に現金は便利でした。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
esim フィジカルの sim カードに比べて本当に設定が楽でしたし、何より sim を無くす心配がないことが良かったです。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ドライバーは持っていかうか直前まで悩みましたが、一応持っていきました。ホームステイ先にドライバーがなかったのも、持って行って正解でした。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
出国前に下調べとして、現地の治安についての情報を得ていました 特に犯罪に巻き込まれたことはなかったです。ハプニングとして、スマホをお土産屋の棚に置いたまま店を出てしまって、少したって持っていないことに気づき、慌てて店に戻りました。幸いなことに、見つかりましたが、以後このような事は絶対にならないといけないと思いました。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
とても良かったです

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
1 人部屋だったことが私にとって何より良かったです。もちろん留学なので、積極的に人と話すことは重要ですが、1 人の時間も必要だと思います。特に、普段の生活で1 人の時間も大切にしている人は1 人部屋を用意してくれるホームステイを選ぶべきだと感じました。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
良かった点:先生が本当に新味になって教えてくださって、今まで学んでこなかった英語の深いところまで学ぶことができたこと 良くなかった点:私のクラスではないが、日本人が多いせいで、日本人だけで構成されたクラスがあったこと
2)課外プログラムについて
授業後にスポーツとカンパセーションアクティビティがありました。私も数回参加しましたが、どの回も盛り上がっていました。また、私は参加できなかったのですが、土曜日にはハイキングアクティビティが開催されていて、参加すればクラス以外の人も仲良くなることができます。
3)現地での生活に関すること
ホームステイ先がどこになるかによりますが、私の場合は通学にバスで40分かかりました。私はいつも授業開始ギリギリに登校してしまっていました。朝が苦手な人には少し苦痛に感じるかもしれません。しかし、その分生活のリズムは整います。また、日本よりもお店や娯楽施設が閉まるのが少し早いです。学校が終わってからだとあまり観光する時間がとれないことが少し残念な点でした。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
バスを降りる際に「Thank you」と感謝をドライバーに伝える文化が印象的でした。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私は、大学に入って留学することは1つの目標でした。しかし、今までチャンスがあったものの色々な理由をつけて諦めてしまっていました。それでも留学への思いは捨てられなかったため、学生最後の夏休みに挑戦することになりました。しかし、参加をするうえで、懸念点だったことがあります。それは、「海外で英語を学ぶ」必要があるのかということです。日本である程度英語は勉強していたので、わざわざ海外で英語を勉強することに意味はあるのかと思っていました。しかし、実際授業を受けてみると、今までの英語の学習では学ばなかった、英語の細かいニュアンスまで学ぶことが出来たり、様々な国から集まる年齢も異なる学生から様々な事を学ぶことが出来ます。彼らは、私よりも流暢に英語を話すことが出来ます。それでも自分の英語力は低いと言い切り、必死に学んでいる姿がそこにはありました。私も英語を話せるようになりたい、読めるようになりたいと勉強をしてきました。しかし、日本ではそれほど英語を使う場面は少ないし、英語を話せなかったとしても問題なく働くことが出来ます。しかし、他の国ではそれが当たり前ではありません。クラスメートには、私のような20代の人がいれば、もっと年上の人も多いです。「英語を学ぶ」という事から広がる価値観を体感することが出来ました。私は、海外で英語を勉強することで得られる学びの深さを知ることが出来たので、悩んでいる人がいたらおすすめしたいと思います。
